

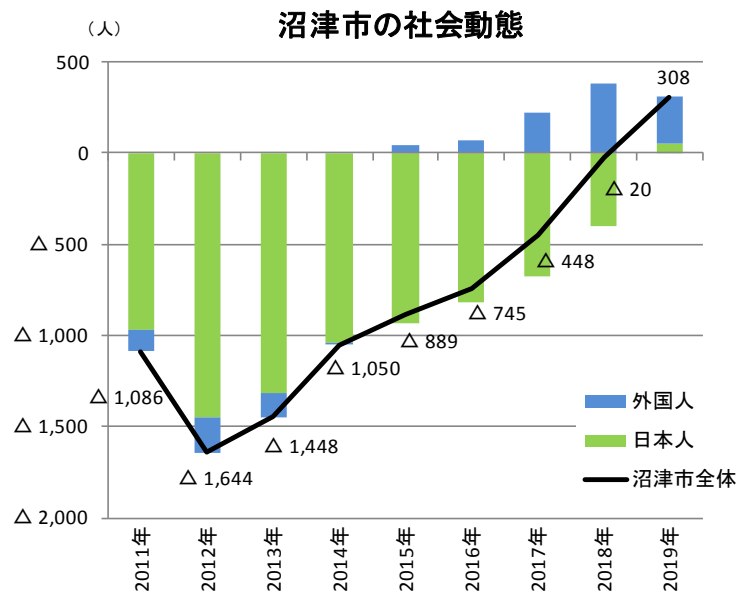
沼津市 37 年ぶり転入超過

沼津市の2019年（暦年）の住民基本台帳人口による社会動態[※]が、昭和57年以来、37年ぶりに転入超過を達成しました。2019年は、転入者数7,988人に対し、転出者数7,680人となり、308人（うち日本人55人、外国人253人）が転入超過となりました。

※ 社会動態…転入者数と転出者数の差の動向

■沼津市の社会動態の状況

転出超過傾向が続き、2013年は全国ワースト6位、2014年は全国ワースト7位を記録しましたが、徐々に回復傾向となり、2019年で転入超過を達成しました。



■社会動態の内訳

内訳	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
日本人	△ 968	△ 1,450	△ 1,320	△ 1,038	△ 933	△ 816	△ 672	△ 402	55
外国人	△ 118	△ 194	△ 128	△ 12	44	71	224	382	253
合計	△ 1,086	△ 1,644	△ 1,448	△ 1,050	△ 889	△ 745	△ 448	△ 20	308

日本人については、2018年では、402人の転出超過でしたが、2019年では55人の転入超過となりました。また、外国人については、2015年から転入超過となっており、市全体の転出超過傾向の抑制に寄与しています。

■転入・転出者数の動向

内訳	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
転入者	7,385	7,199	7,103	7,080	7,188	7,059	7,347	7,629	7,988
転出者	8,471	8,843	8,551	8,130	8,077	7,804	7,795	7,649	7,680
合計	△ 1,086	△ 1,644	△ 1,448	△ 1,050	△ 889	△ 745	△ 448	△ 20	308

転入者は2017年から回復傾向となり、転出者は2013年から減少傾向となっています。

■総括

2015年からの「沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」による様々な取組の一定の成果の表れと考えますが、自然動態は減少傾向にあり、減少幅は緩やかになりつつも人口の減少傾向は続いていることから、引き続き抑制に向けて様々な施策に取り組んでいきます。